

幼子とともに

2025 年度 4月号

はじめに

御入園、ご進級を、心よりお慶び申し上げます。いよいよ、2025 年度がスタートしました。越谷幼稚園としては、新体制でのスタートとなりました。そこで、新年度は、先生方が集まり、キリスト教保育を始め、越谷幼稚園の大事にしている保育や行事の持ち方など、今まで築き上げられてきたよき伝統に立ち、さらに原点に立ちつつ、新たに始まる今年の歩みを確認するところから始まりました。

色々と素敵な話題が生まれましたが、子どもが一番、遊びが中心、神様の愛、保育者の愛を一杯、注ぎ込むことに、皆の意識が変わることはありません。保育者一同、子ども世界の中で、一杯楽しみながら、お子様の成長に寄り添いつつ、新たに歩み出したいと思います。どうぞ、今年度も、よろしくお願い申し上げます。

ゆっくりで大丈夫(^▽^)/

いよいよ、新年度が始まりました。子どもたちは、様々な思いを抱きながら、登園してくるだろうと思います。新入園児の皆さまの中には、保護者と離れるのに不安を感じる子もいるかもしれませんね。

子どもたちにとって、初めて幼稚園に行くのは、ある意味で、「新しい世界への冒険」でもあります。誰でも、新しいことをするときには、ドキドキするものです。今までは、「お母さんと一緒」「お父さんと一緒」という世界から、少し離れて、先生やお友達と過ごす新しい世界へと移行していくわけですから、不安もあることでしょう。

大事なことは、分離が難しいことを悩まず、「今は、そういうもんなんだ！」という意識だと言えるでしょう。逆に「この子には、そういう側面もあるんだなあ」と感心してしまうぐらいが丁度よいかもしれません。ゆっくりで構いません。遅れても構いません。お子様が、自分自身で気持ちを切り替えて、自分の思いで行けることが大事だと思うのです。

「離れたくない」は、保護者の皆さまを愛している証拠であり、「いってきます」は、保護者の皆さまを心から信頼している証しです。そのような子どもの持つ、皆さまに対する深い愛情や信頼を感じながら、日々を過ごして頂ければと思います。

子どもの持つ多面性

園長を続けていますと、度々、教えて頂くことがあります。それは、「うちの子は内弁慶なのです。家ではわがままですが、幼稚園では違うのです」ということです。これは一例ではありますから、勿論、逆のパターンもあります。要するに、幼稚園での様子と家での様子が、子どもによって違うということをよく教えてもらえます。

このような子どもの多面性は、決して、問題ではありません。そもそも、幼稚園と家庭では、環境が違いますから、子どもの様子に多面性が生まれるのは間違ったことではないのです。むしろ、どちらも、その子の今の姿であり、いずれも、かけがえのない、大切な瞬間なのです。そして、その多面性は、いつでも、反転することすらあるのです。幼稚園での生活は、年齢問わず、初めの内は緊張で一杯かもしれません。その分、ご家庭では、その緊張感から解放されて、わがままになってしまうことは、よくあることなのです。

以前、私が園長を務めた幼稚園には、非常に真面目なお子様がいまして。まるで模範生のようなお子様でした。保護者のお話を聞くと、お家ではだいぶ「内弁慶」だったようです。しばらく、幼稚園で過ごしました。



二学期も半ばに入った頃、その子は、自分のしたい遊びが出来ず、今まで聞いたことがない大きな声で、泣き出したのです。しかし、保育者たちは、だれ一人動じることなく、「やっと自分の思いが出せたね。先生うれしいよ。」「やっと幼稚園が居場所になったんだね。先生ここにいてよ。泣いてもいいからね」と、その子のもう一つの側面が引き出されたことに、みんなが歓喜したのでした。このように保育者が、その子を受け止めることができたのは、お子様のお家での様子を、事前に把握していたからであると思うのです。

子育ては、一人ではできません。悩みを抱えず、是非、幼稚園でお話をしてください。お家での様子が、先生方の関わり方に、良い意味で大きく影響が生まれ、子どもたちの新しい成長につながるのだと思うのです！！

自信と不安の繰り返し

いよいよ、年少さんは、年中さんへ一つ大きくなりました。年中さんは、年長さんへと一つ前へ進みました。大きくなったという実感は、子どもたちの自信に変わるでしょう。きっと、一学期は、今までしていた遊びに、もう一つエッセンスが加わったものになるかなと思っています。新しい先生、新しいクラスは、子どもたちの心の刺激となつて、遊びがますます、豊かに展開されていくのではないかと思います。

その反面、前にいたお部屋が気になったり、すぐに遊びが見つからなかったりと、心が落ち着かない時間を過ごすお子様もいるかもしれません。しかし、安心してください。子どもたちのペースで良いのです。ゆっくりと、新しい環境に慣れていけば良いのです。それまでは、暇そうな園長をいじり倒してくれても良いのです(笑)

越谷幼稚園は、遊びを大事にしています。自由な遊びは、それだけ、子どもたちの主体性や発想力を培います。危険すぎるものでなければ、どんな遊びでも、それが、子どもたちの知的財産に変わります。それを探している間は、子どもたちの感情のコントロールや脳がフル活動している状態でもあるのです。少しずつでも、自分のしたいことを見つけ、それが面白い！って思えるものがみつかるように、子どもたちの今に寄り添ってあげたいと思います。

この時期は、このように自信や不安を繰り返す時期であるとも言えるかもしれません。けれども、バネが伸び縮みして高く飛ぶように、行ったり、来たりを繰り返しながら、子どもは成長していくものであると思います。大事なことは、子どものたちの変化に、私達が関心を抱くことであると言えるでしょう。出来る・出来ないが重要ではなく、どんな状態であっても、その子の今をそのまま受け止めて行くなれば、子どもは安心して、今日を過ごし、明日に期待を持てるのかもしれない(^▽^)/

園長 須賀 工

栄養士だより 《ごあいさつ》

ご入園、ご進級おめでとうございます。食に関する全般を専門的に学んだことを通して、子どもたちと楽しくおいしく食べることのお手伝いをさせて頂けたらなあと考えております。疑問点や困っていることなどありましたら、どうぞお気軽にお声をかけてください。一緒に考えていきましょう。また簡単に作れるおかずやおやつなどもご紹介していこうと思います。”一緒に食べるとおいしいね！”をめざして歩んでいきましょう。

一番星のようにキラキラ瞳を輝かせている子どもたちと共に過ごせる喜びを感じています。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。池田和美

きな粉ペースト
きな粉大さじ 2 蜂蜜大さじ 1 牛乳小さじ 1 (分量は目安です。お好みで調整してください。) ジャムのように食パンにつけると簡単おやつができますよ。

